

〒670-0086
姫路市田寺7-5-41
真宗大谷派 善覚寺
TEL(079)296-2442
FAX(079)291-1359
zenkakuji500@gmail.com
http://www.zenkakuji.com



善覚寺 検索

菩提樹

2023年 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要
テーマ「南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう」

永代経法要

三月十八日(土)

午後一時半～午後三時

午後一時三十分～二時一十分

お経(お焼香をしていただきます)

正信偈(一緒にご唱和ください)

休憩 一〇分

午後二時二十分～三時

法話 善覚寺後住(若院)

が法話をいたします

三月十九日(日)

午後一時半～午後三時二十分

午後一時三十分～二時一十分

お経(お焼香をしていただきます)

正信偈(一緒にご唱和ください)

休憩 一〇分

午後二時二十分～三時二十分

法話 津山市本琳寺 藤井晃師

に御法話いただきます

お繰り合わせご参詣焼香下さいますようご案内申し上げます。

祠堂(永代経懇志)をお納めいただいた年忌の正当の方には、別途ご案内させていただきます。

善覚寺行事案内 2023(令和5年)

☆写経の会

第2月曜 午前10時～11時40分

4月10日からリニューアルします。これを機会に是非お寺で静かな時間を過ごしましょう。

☆日曜学校

第2・第4日曜 午前9時30分～10時30分

4月9日は「花まつり」をします。

☆寺ヨガ

午前10時～11時 毎月3回開催しております

住職・坊守も参加しているシニアバージョンもあります。(ホームページ及び電話でご確認ください)

参加費 千円 定員10名 要申し込み

老若男女問いません



☆盂蘭盆会暁天法座

8月14日(月) 早朝6時～7時

お盆のお座を開いております。夏の早朝に皆様でお参りください。亡き人を偲び、お念仏申しましょう

☆報恩講(予定)

11月 4日(土) こども報恩講 午後1時30分

5日(日) 大逮夜 (バーボンサワーコンサート)

午後1時30分

御伝鈔

午後7時

6日(月) お朝事

午前8時30分

結願日中

午前10時30分



編集後記

久しぶりに姫路城マラソンが開催されるなど、少しずつウィズコロナとなってきましたね。小学4年の孫も2キロを完走し、楽しませてもらいました。

永代経などの行事も少しずつ以前の形に戻して行きます。寒い時期ですので防寒の用意をしてお参りください。

善覚寺 公式

LINE



善覚寺インスタグラムやってます



ZENKAKUJI

「永代経とは」

そもそも「永代経」という「お経」があるわけではありませんが。永代経とは字のごとく、

「永代（末の代）まで、亡くなった人をご縁として読経していく（お釈迦様の教えを伝えていく）」

ことです。また、「永代祠堂経」とも呼ばれます。祠堂とは、本堂のことを指し、永代に教えを伝えるために、その御堂を支えていくという意味が込められています。では、何故読経するのでしょうか。

思い浮かぶことは、「亡くなった人を永代に供養していくこと」

かもしれません。故人やご先祖さまを思う気持ちは、本当に大切に尊いことです。しかしよくよく考えてみれば、ご先祖様もすでに仏様（諸仏）になられておられます。

どうでしょうか、「娑婆世界」に生きる迷い悩み多い私たちが、迷いの世界を超えた仏様をはたして「供養」できるのでしょうか。

「娑婆（サハ）」という言葉の本来の意味は耐え忍ぶということ。 「堪忍土」と訳されます、お釈迦様はもっとはつきり「一切皆苦、人生とは苦である」とおっしゃっています。私達は生まれながらに根源的な苦である「生老病死」をいただいています。

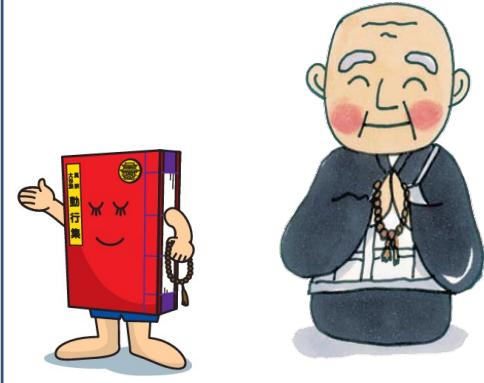
気が付いたらこの世に生まれ、知らぬ間に年を重ね、病を患って死んでいく。これは誰にも変わってもらったの出来ない、他ならぬ自分のことでした。しかし「娑婆」という言葉にはもう一つ意味があります。「仏の教えに遇うところ」という意味です。

仏の教えとはお経のことです。そして親鸞聖人が仰がれた中国の善導大師は「経教はこれをたとえるに鏡のごとし」という言葉を残しています。お経は私のありのまま全てを映す鏡だということです。その中には見たくないものも見えてきます。そして、この大きな鏡の前に身を運ぶ「ご縁」を作ってくださいるのが、無数の亡き人、諸仏、ご先祖さまなのです。

私たちは、ご先祖さまのことを思い供養しようと考えるがちですが、本当は逆なのでしょう。いつも心をかけ心配してくださっているのは、仏様となられた亡き人ではないでしょうか。私たちは、人と生まれ、娑婆を生き、仏様の教えに遇わせていただくのです。

「大丈夫ですか？心の眼を閉じていませんか。どうぞ真実のみ教えに出遇って、限りある人生を人間として大切に送ってください」こんな励ましが聞こえて来るのが永代経法要です。どうぞお参りください。

私達はいつから「今だけ・お金だけ・自分だけ」になってしまったのでしょうか。生命と核は共存できません。これは「いのち」の問題です。すべての核に反対です。（善覚寺 住職 釋教範）



【すべての核に反対です】

今月の電気代をみて皆さんビックリされませんでしたか？電気代・ガス代が上がっています。5月以降さらに上がるそうです。ロシア、ウクライナ戦争によって石炭や液化天然ガス（LNG）などの輸入価格高騰が原因と言われています。

そうするとやはり火力発電ではだめだ、原子力発電をベースロードとしてさらに依存度を高めるべきだという論調が増え、実際2011年の福島原発の事故がなかったかのように60年超えの老朽化した原発稼働など、原発推進へと政府は舵を切っています。

しかし長い目で見ると高額な建設費用や事故被害額、安全対策費用、立地自治体への補助金以外に、何十年かかるかわからない「廃炉」費用、使用済み核燃料を何万年も管理保管して置かなければならない費用等を換算すると膨大な費用がかかることがわかっています。

また温暖化対策として原発利用が言われていますが、原発は、燃料を作るにも使用後も工程が多く、そのすべての段階で、エネルギーが使われてCO2が発生します。各工程間の輸送でもCO2を排出します。

危険を伴う原子力は、立地から、管理、運営、核のごみの後始末まで、お金や人、をたくさん使います。その分、地球温暖化の抜本的解決策である自然エネルギー導入や省エネ推進が遅れてしまいます。

そして原発を稼働・廃炉すべての段階で原発従事者に被爆をさせているのです。また満杯になった処理水が海洋放出されるようですが、海洋資源への放射性物質の蓄積、そしてそれらの食物連鎖による内部被曝の問題が置き去りになっています。

京都 本山 東本願寺 「宗祖親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要」

- 【第1期法要】 2023年3月25日 ~4月8日まで
- 【讃仰期間】 2023年4月9日 ~4月14日まで
- 【第2期法要】 2023年4月15日 ~4月29日まで

期間中の京都市内での関連催し

京都国立博物館

「親鸞 生涯と名宝」展 3月25日～5月21日

南座

「若き日の親鸞」 4月10日～29日

ご門徒割引があります。詳しくは善覚寺まで